

第1回

eポートフォリオ入門

全文テキスト

文部科学省委託事業
エル・ネット「オープンカレッジ」

東北芸術工科大学
高等教育情報化推進協議会

東北芸術工科大学公開講座

IT活用で生涯学習を
80倍面白くする方法
eポートフォリオ入門

全2回
高等教育情報化推進協議会

第1回

eポートフォリオ入門

講師 前川道博
東北芸術工科大学専任講師

【1】eポートフォリオとは何か

ポートフォリオを知っていますか？



(聞き手：伊勢博)

---- ポートフォリオって知ってますか。

渡部 ポートフォリオ…。何か聞いたことはありますね。

---- …知っていますか。



相沢 いや、知りません。

---- ポートフォリオって知ってますか。

斎藤 名前だけは聞いたことがあります。



コンラッド ポートフォリオとは自分の作品、写真、芸術作品などを集めたもので、進学や就職のときに提示するもので、例えば自分の作品記録みたいなものです。

---- ポートフォリオっていうのはご存知でしょうか。

青木 ポートフォリオっていうのは総合学習なんかでよく聞く、生徒が学習を進めるときにファイルしていくような、そういうやつでしょうかね。



羽柴 総合学習で、2、3年前、千葉の方かな？ 研修に行った時に総合学習の実践校で聞いたり、見せたりしていただきました。



イントロダクション



eポートフォリオとは何か

「eポートフォリオ」という言葉は新しい言葉なんですけれども、「ポートフォリオ」という言葉はこれまでも社会の中で広く使われてきました。

「ポートフォリオ」。これは「紙ばさみ」とか紙を入れるファイルのことを意味しています。その中に自分の作品、あるいは学習であれば、記録したものを放り込んで束ねていく。そうするとこういう厚みのあるファイルができる。これがポートフォリオです。その中には自分の学習履歴、いろいろ学習したことが詰まっているものになっていくわけです。これを5年、10年と続けるとたいへん立派なポートフォリオができていく。そこに自分の学習の成果物、そして

知識を育んだものが全て記録されているというものができていきます。それがポートフォリオです。

で「e」が付くんですけれども、この「eポートフォリオ」というのは、それをITを使ってもっと、物理的なかさばるものではなくて、パソコンを使って、その中にデータが入る。その中に蓄積されていくというものです。それが「eポートフォリオ」なんですね。



「興味」を引き出そう

これまでと何が違うのかというと、それは与えられたものを受け取るという学びとはちょっと違って、自分が興味のあるもの、何を学びたいんだろうかということを中心にしているいろいろなものを集めていく。そして調べていく。そして自分の知識に変えていくということなんですね。それを支援する一つの方法がポートフォリオ学習なんです。

このポートフォリオなんですけれども、この中に5年間、10年間、あるいは20年、あるいはもっと何十年の自分の学習の成果物が蓄積されていきます。蓄積することが目的ではなくて、そこへ蓄積していく過程でいろいろなものを学習していくわけです。その中でいろいろな発見もあります。感動もあります。そういうものが全

て綴られていく。記録されていく。そういうものになっていきますね。その絶え間ない繰り返しというものがポートフォリオ学習というものです。どうやって自分の興味あるものを引き出していけばいいんだろうか。こういうところがまず出発点になります。「あなたは今一番どういうことに興味がありますか。」そういう問いかけから始めてみたいと思います。



eポートフォリオの事始め

いろんな人たちに話を聞くと、自分は何をやりたいのかな、というのが意外とわからないでいたりする人たちもいるんですね。それから何かいろいろ熱中してやっている人たちもいるんですけども、例えば、パソコンという道具とそれが結びついていなかったりというケースもよくあります。これがお互いに結びついたり、その道具を使うことによって興味が引き出されてくるというふうなことがあるわけなんですね。この辺もeポートフォリオというものの一つの面白いところなんですね。

この方法は最初は私が始めました。「私が始めた」というのは、今から7年ぐらい前に、自分のポートフォリオをパソコンを使ってど

ういうふうにはすればできるんだらう？ というモデルケースから始めたというのがそもそもの出発点です(下記の『マッピング霞ヶ浦*』)。

ビデオで映像を撮ってくる。で、それを素材にして整理をしてみる。するとそこにいろいろな物語があるということに気づくんですね。で、いろんな発見がある。それもただビデオで撮っただけでは意識しなかったものが、ちゃんと画像にして、ホームページになって見れるようになって、そしてそれがしっかり確認できるようになってくるわけです。すると自分にとって意味のあるものがそこに見出されてくる。それを言葉で表現すると、一つの記録になるわけですね。そこで学習したことの意味づけができるわけです。これが私のポートフォリオの原点のようなものなんです。

そしてそれを一つ、二つ、三つと、二月、三月...というふうに積み上げていくと、最初20ページぐらいだったものが、次第に100ページ、200ページ、それが5年、6年、7年と続いて今は6万ページぐらいになっています。それぐらいの規模にまで成長していくわけです。5年、6年、7年経って数万という数なんです。これが多いか少ないかっていうのは見方によって違います。それから量を競うものでは決してない。ただ、ずーっと連続してそれが切れ目なく今に続いているっていうのが、私の生涯学習のページ作りだったんですね。なんでそういうことができるかっていうと、これはコンピュータ、道具を使っているからなんです。今私たちのところで開発をしているポップコーン(PopCorn)、プッシュコーン(PushCorn)というソフトを使っています。これを使っているんで、作るのがとても楽なんです。続けるのがとても楽なんです。毎回、新しい発見がある。すると、それをまた画像にして追加する。でそれを記録する。整理する。これを繰り返していきます。これはとても面白い。そしてそれが負担なくできることが長続きする上でとても大切なことなんです。

eポートフォリオの事始め 『マッピング霞ヶ浦*』(前川道博)

<http://www.kasumigaura.net/mapping/>

トップページ



目次のページ



トピック
(個々のページ)

1997年1月にわずか20ページから始めた。生まれ故郷「霞ヶ浦」の諸々の出会い・記憶・記録を思うがままに綴ろうという意図で始めた。何を伝えたいかを「トピック」(ページ)ごとに綴っては、1ページ、1ページと追加してサイトを成長させていく。今から振り返ればまさに「eポートフォリオ」であった。

始めて見ると、表現したいもの、伝えたいものがたくさん湧き上がってくる。テーマや企画は尽きることなく、むしろ際限なく湧き上がって、...5年、6年、7年...と長続きするサイトになった。

その間、ページ数は増え続け、トピックで4,000、クリップのページまで含めれば60,000。まだまだ増え続ける。

「PopCorn」というソフトを開発してサイト全体を自動生成している。これが楽にできる、長続きしている秘訣でもある。



かさばらない

これまでのホームページ用のソフトを使うと、なかなか一つ一つのページを作るのが大変だったりしました。そうすると作るのを目的にしないとなかなか長続きしなくなったりして、結局はそれで挫折してしまったり、それが大変なために自分の考えていることが引き出されなかったりする。興味が引き出されなかったりする。そういうふうなことでいるんなら阻害要因が外側にあったと思います。それがこういう道具を使うことによって、とても楽になってきたんですね。これがeポートフォリオの、道具を使うと効果的に進められるという側面。そしてとても長続きするということなんです。

で5万ページ、やがては10万ページというふうになったとして

も、これは決してかさばることがないんですね。

これは、例えば、ホームページの一つ一つのページをプリントアウトして紙にしたとしたらどうなるか。これはとても(手を上げて)こういう厚さではありません。(さらに高く上げて)こうもなりません。(さらに高く上げて)こんなものじゃとても収まらないです。ものすごいファイルをずらっと並べることになりましてね。こういうふうに物理的にかさばったもので、さらにそれを蓄積していくというのは難しいですね。

それからここにあるものも、前に作ったものも手直しをしたい。それから統合化し直したい。編成し直したいということがあってもなかなかそれができないわけです。

ですから、こういう道具を使うとそれがとても楽になる。そしてこんなにかさばることもなくですね、何十年でも続くということになるわけなんです。

それでホントにポートフォリオを作ると言うことがとても楽になりました。

紙ベースのポートフォリオは？



こういう厚さではありません。



こんなものじゃとても収まらない。



ものすごいファイルをずらっと並べることになる。

eポートフォリオだと...



5万ページ、10万ページとなっても、決してかさばることがない。eポートフォリオの道具を使うととても長続きする。

興味引き出し法



「興味」の引き出し方

ポートフォリオ学習で大切なことの一つ。それは「興味」の引き出し方ということですね。自分の興味あることの引き出し方。もちろん自分で興味のあることがある人はいいんです。それを育てていけばいいんです。なかなか興味を発見できないでいる人もいたりするんですね。ですけれどもいろんな人たちに聞くと、じゃあ、何もやらなくていいのかということではなくて、本当はもっと楽しいこと、面白いこと。これを探しているんですね。その声がとても切実だったりするんですね。そして実際にポートフォリオ学習を始めて面白かったという話を振り返っていただくと、本当はそこに自分の生き様というか、人生観、生き甲斐とい

うものを創造したいんだっていう気持ちがとても強いということを感じたりしています。

そういう、とても「生きる力」になる。支えになる。そういう意味も持っているものがポートフォリオ学習なんです。

自分の興味の引き出し方というところが一つポイントになります。で、これは、人から言われて興味を発見するものでもないですよ。ですからそこが最初難しいところかもしれないですね。それでこれまで私の大学では、公開講座を何回かやりました。そしてポートフォリオ学習のいくつかのテーマ、切り口をメニューとして用意してきました。最初の公開講座は4回シリーズでやりました。それは最初は「環境学習」、それから「自然観察」、それから「地域学習」、それから旅のレポート「旅れぼ」。こういうテーマ設定でやったんですね。

いろいろなものが学習の入り口なんです。そして興味あるものの接点になっているものなんです。「旅」をするから、それは「学習」ではない、ということではないんですよ。それから遊びをしている、スポーツをしている。だからそれは学習ではないということではないんですよ。それも全て興味あるもの、学習の対象なんです。「興味あるもの」なんです。

ややもすると学習するということと遊ぶ、それからどこか旅をして楽しむことが違うものであるかのように誤解をさせてしまっている。これは境目はないはずですね。そこに自分の本当に興味のあるものがあるはずなんです。あるいはそこから自分の興味あるものが引き出されていく。発見されていくはずなんです。そこに気づいていただくということが、また大切なことなんではないかな？ と思います。

2002年度東北芸術工科大学公開講座

「PushCorn ワークショップ『楽しく協働学習』」

<http://www2.yamagata-net.jp/ws/>

モデルケース
「PushCornワークショップ～楽しく協働学習」

- 2002年度東北芸術工科大学公開講座
環境学習編、自然観察編、地域学習編、旅れぼ編
子どもから大人まで、スキルレスで「eポートフォリオ学習」

「PushCorn」で
eポートフォリオ学習

「PushCorn」サービスで
「eコミュニティ」創造

2002年度・東北芸術工科大学公開講座
PushCornワークショップ「楽しく協働学習」

- 開催の学習イベント
- 1. 環境学習編
2002/05/18-19
講師：尾形美奈 (環境学習アドバイザー)
野川道博 (本講座コーディネーター)
- 2. 自然観察編
2002/07/27-28
講師：山田孝幸 (山形大学助教)
野川道博 (本講座コーディネーター)
- 3. 地域学習編
2002/08/10-11
講師：伊藤 隆 (東洋インテリネットクラブ会長)
野川道博 (本講座コーディネーター)
- 4. 旅れぼ編
2002/12/14-15
講師：尾形美奈 (Webデザイナー/旅れぼ発案者)
野川道博 (本講座コーディネーター)

5回の学習サイト

- 【1】環境学習編「エコウォッチ in 山形」
開催日：2002/05/18-19
講師：尾形美奈 (環境学習アドバイザー)
野川道博 (本講座コーディネーター)
- 【2】自然観察編「山の自然観察コース」
開催日：2002/07/27-28
講師：山田孝幸 (山形大学助教)
野川道博 (本講座コーディネーター)
- 【3】地域学習編「山の地域レポート」
開催日：2002/08/10-11
講師：伊藤 隆 (東洋インテリネットクラブ会長)
野川道博 (本講座コーディネーター)
- 【4】旅れぼ編「旅の旅れぼサイト」
開催日：2002/12/14-15
講師：尾形美奈 (Webデザイナー/旅れぼ発案者)
野川道博 (本講座コーディネーター)

自分の興味の引き出し方を体験するワークショップ



デジカメとビデオカメラ

デジカメとビデオカメラ

自分の興味の引き出し方。これにはいろいろな方法があります。文章を書くのが好きな方は文章を書いていくといいですね。それから写真を撮るのが趣味の方もいらっしゃいますよね。写真を撮ってくればいいんです。それをポートフォリオに入れるっていうふうなことを考えるといいんです。

今、いろいろな道具ができています。(デジカメを手にして)一つはこういうデジカメですね。デジカメ、ちょっと開いて、こう撮ればすぐ撮れます。こういうものがあります。

パソコンにこれを取り込んですぐに入れることができます。デ



デジカメは手軽に記録できる強力な道具



ビデオカメラもまた強力なツール

デジカメはeポートフォリオを作る、とてもいい道具の一つになりますね。

それからビデオカメラですね。(手にして)こういうビデオカメラ。今、インターネットで動画配信などもできるようになってきました。ビデオで撮ったものがインターネットで流せるようになってきました。するとこれもまた大きな可能性を広げるわけです。

それから私は普通ビデオカメラを使っているいろいろなところを撮ってきています。それを素材に使っています。デジカメでなく、なんでビデオカメラを使うのかというと、たくさん撮れるからなんです。これも意外と気づかない方法かと思って、ここでご紹介したいと思っています。

ビデオカメラですとたくさんこう回せるんですね。そしていろいろな対象物は動いているわけなんです。時間を伴っているわけなんです。車に乗っていれば車が動いています。人も絶えず動いて活動しています。その時にビデオカメラでずーっと回していると、それを連続して撮ることができるわけなんです。するといろんなものがたくさん撮れます。そして、デジカメですと、どうしても最初から選んで撮るということをやります。ですから瞬時に「あれを撮りたかった」という時に撮れないんですよね。ですけれども、ビデオカメラを回していると、それを撮り損なうってことがないんです。それから経験的にはデジカメは失敗も多い。ガシャッと撮ったけれどもブレていたということがある程度の確率で起きます。ですがビデオカメラで撮れているものはたいてい静止画としてもちゃんと撮ることができるという点で意外と撮り残しが少ない。失敗が少ないんですよね。ということでビデオカメラを使って撮るという方法をよくとっています。

ビデオカメラだと動くものを記録できる



例えば鳥の動きが連続で再現できる...





発見と感動は大きな力

発見と感動は大きな力

ポートフォリオというものは結果として作られていくものなんですね。作ることを目的とするというよりも、作るプロセスが一番の面白さがあります。結果的にこうポートフォリオが成長していくんですね。で、自分の知識も成長していくわけです。学習が豊かになっていくわけですね。その証拠としてポートフォリオがある、というような関係かと思えます。

ですから「発見」と「感動」。これがとても大きな力になりますね。それから自分自身にいろいろなものがフィードバックされてくる。返ってくるわけです。この手応え感が非常に面白いということかな、と思います。それがまた自分の中にある「興味」を

引き出していく力になってきたりしますね。

あることについて調べると、今度はまた違う興味が湧いてくる。そこからまた違う発想が、視点が生まれてくる。こういうものがどんどん連鎖していきます。これは際限なく続きますね。ですから、一生、興味を持続させる大きな力になります。そういうふうな興味を引き出す。そして、繰り返し繰り返しやることの面白さを引き出していくということなんですね。これがポートフォリオ学習を生涯学習に活かしていく。生涯学習にポートフォリオ学習を活かしていくということの面白さです。



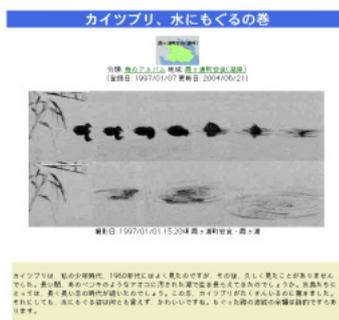
表現を楽しもう

表現を楽しもう

ポートフォリオはeポートフォリオという形にすると、ホームページという形になってきます。人に見せることができます。人に見せるよりも前に、自分が見るために形になる必要があるんですね。こどもeポートフォリオのいいところなんですね。人に見せる前に自分が最初の閲覧者になる。見る人になるわけです。そして、まず自分自身に返ってくるわけです。そこでよかったかどうかという手応えがある。自分自身に返ってくるわけですね。そこがとても意味があるところなんですね。そして同時にそれが人にも伝えることができるわけです。

するとどういった可能性が広がってくるかということなんですけれども、そこはまた一つの「表現空間」なんですね。表現する世界なんですね。それがまた面白いという面になります。同じビデオ、あるいはデジカメで撮ってきた素材の組み方で全然違います。それからその見せ方。いろいろあります。それから文章で表現するというのも千差万別。非常に表現の幅があるんですね。

ですから割と決まりきった素材で組み立てるように見えても、それは人によって表現は全然違ってくる世界なんですね。そこに自分の個性が表現される。そして自分の視点というものがそこにしっかりと表現できるわけです。そういう表現の面白さというものが生まれてきますね。それを追求する面白さというものもポートフォリオ学習の中にはあります。



eポートフォリオは「表現空間」。自分の視点がしっかり表現できる。



デジカメ撮影に夢中になれるのは、そこが「興味ある世界」に変わるから。



表現を高め自分を高める

ポートフォリオを形にします。するとホームページ、Webのページになって、誰でも見れるようになります。画像があったり文字があったりします。それを作るだけなら誰でもできるんですが、ここはさらに表現を高めていくというのが、一つまた面白いところなんです。

文章で言うと推敲と言いますが、よりよくしていく。磨きをかけていくということですね。これは自分自身に磨きをかけていくということです。自分自身を高めていくということなんです。どうすればさらに自分が学んだこと、伝えたいこと、体験したことの意味、これを伝えられるだろうかと表現する。これは、

とても面白いことなんです。挑戦意欲の湧く、わくわくするような表現行為です。

ですから、それをどういうふうに考えていけばいいのかというところに集中して中身の表現を考えると面白いんじゃないかな？と思います。

表現を推敲していく。elaboration（推敲＝よりよくすること）、elaborate（よりよく）していくというふうなことなんです。

ここにまたポートフォリオの限りない側面というものがあります。そして自分の表現の質はいくらでも高めていくことができるんです。これはもう限りない挑戦。そして一生かけて自分に磨きをかけていくという学習にもなっていくわけなんです。

表現を高める（elaboration）ことは自分を高めること

ポートフォリオは自分を高める限りないチャレンジ

「e」のアドバンテージ



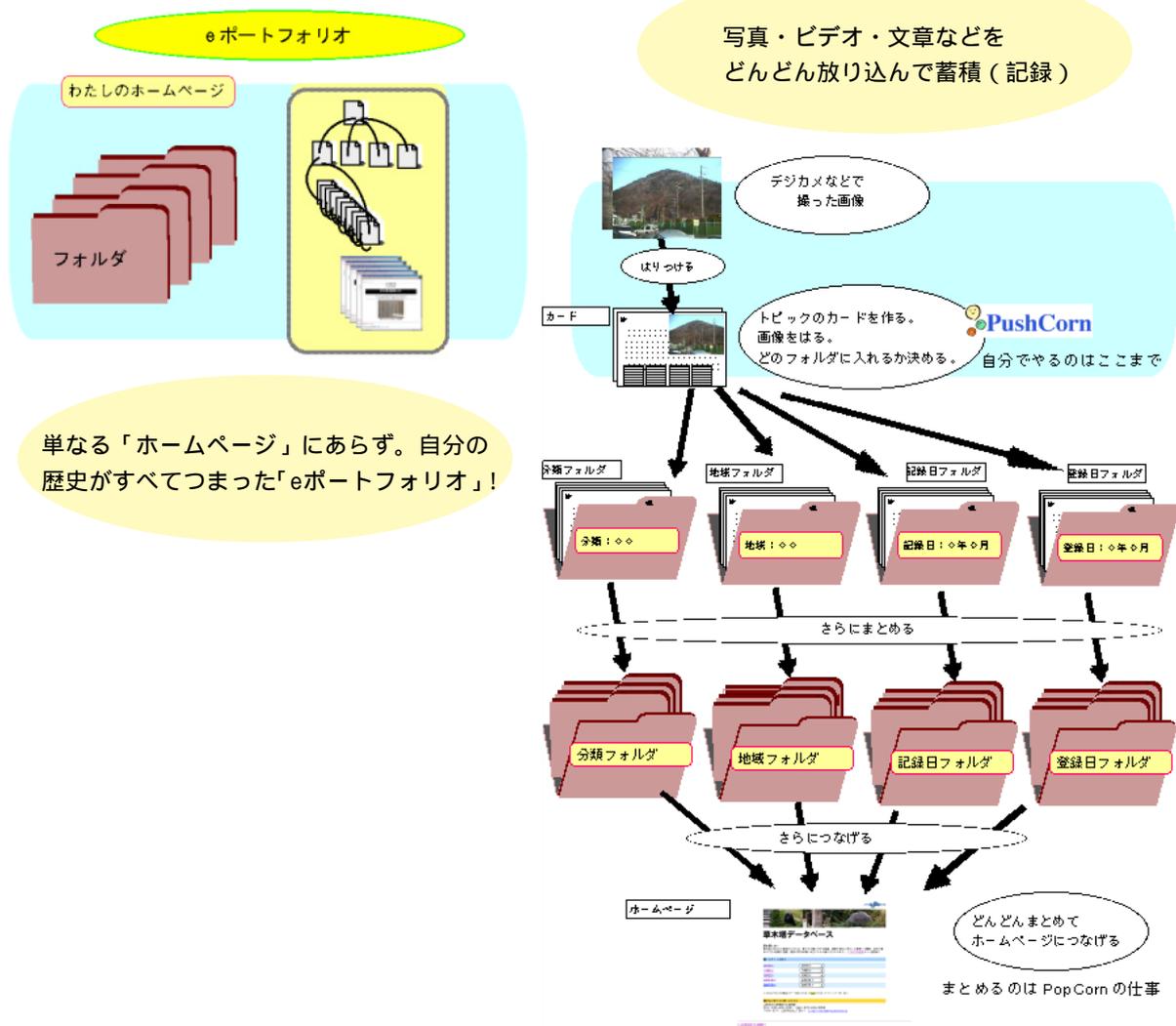
生涯かけてフォルダに分類

ここでeポートフォリオがどういうものかっていうのを図の方でご説明したいと思います。ここに出ているものですね。写真とかビデオとか文章とか、こういうものをどんどん放り込んでいきます。これにタイトルをつけます。名前をつけます。そしてそれをどう分類でどこに入れればいいのか？というのを考えて分類していきます。

するとフォルダごとにいろんなカード、情報が仕分けられますね。それを整理して束ねていくと、とても大きな入れ物になります。これを束ねた全体がホームページ、ウェブサイトになるわけですね。これが最初は百ページでも、やがては千ページ、1万ペー

ジ、10万ページととても大きくなっていきます。こういう入れ物、こういう概念なんですね。

一生涯かけて、そして日々更新していくものですから、この更新がとても簡単でないと長続きしませんね。データをいくらでも蓄積できる。こういうふうなものが必要になってきます。それで必要な道具立てがプッシュコーンというものなんですね。



単なる「ホームページ」にあらず。自分の
歴史がすべてつまった「eポートフォリオ」!



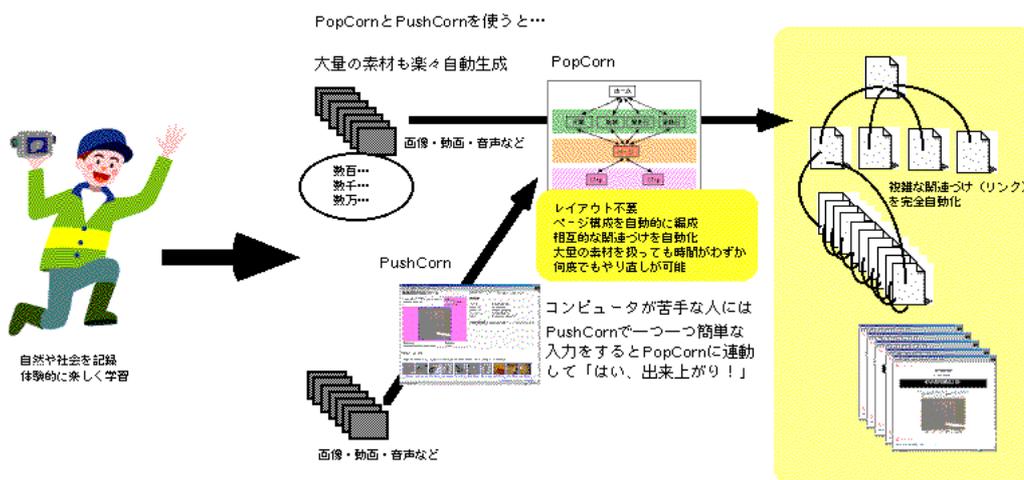
長続きできる道具立て

長続きできる道具立て

ホームページを作る道具はいろいろあります。ここで具体的な名前は挙げませんが、そうした多くのソフトは、たいてい一つ一つのページを作るためのソフトになっています。ワープロに割りと同じです。ページを作るソフトです。一つ一つのページは作れるんですけども、それでもちょっと手間もかかる。ポートフォリオは、むしろたくさん束ねたものをいかに全部見れるようにするか。ここがとても大切なわけですね。

すると、何十ページ、何百ページというのを作るのは大変なことですよ。一つ一つページを作る。これでも大変なわけですけども、これにさらにリンクをはる。構造を作る。こういうこと

をする。とても手間隙かかるわけですよ。ですから、普通のホームページ作成ソフトでこれができるかということ、できなくはないんですけども、かなり大変ではないかなと思うんですね。ですから小さなものを作るんなら、それで何とかがんばれるにしても、5年、10年と続くものにはちょっと耐えられないものになっていくのではないかな、と思います。そういう問題があります。ですから道具立てというものがとても大切になってきます。



情報アーキテクチャの支え

情報アーキテクチャの支え

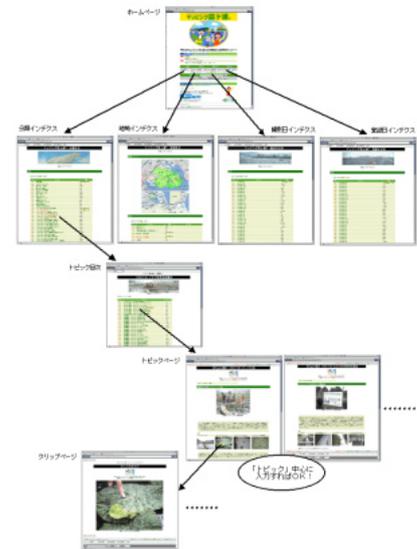
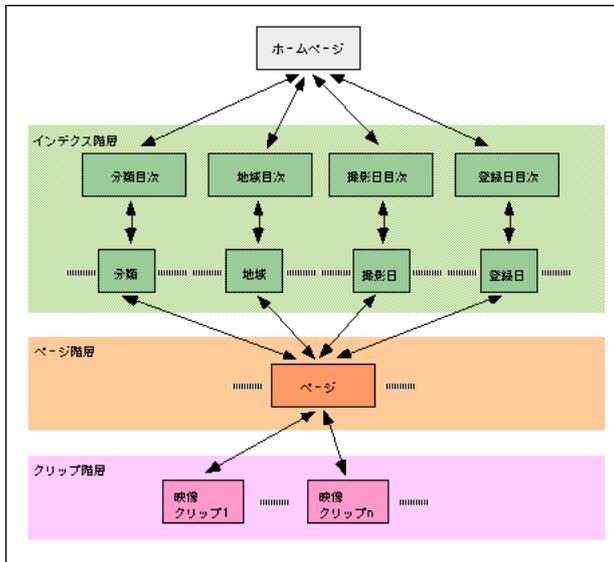
ホームページは比較的簡単に誰でも作れるというわけではないんですけども、それでもソフトの使い方を覚えればできなくはありません。それでも誰でもすぐにぶつかってしまう壁があります。それは何かと言うと、構造を作るってということなんです。ホームページを作るということは1つのページを作ることではないんです。いろいろな知識の体系、情報の体系があります。そして自分はそれをどういうふうにつまみ食いしているのか、分類しているのか。こういう構造を作るものでもあるんですね。そこはなかなか考えるのが難しかったりします。

ですから2ページ、3ページ、4ページ。簡単なホームページ

は誰でも作れるんですが、これが100ページ、1000ページという規模になった時に誰もがもてあましてしまう。壁にぶつかってしまうんですね。

これをどのように乗り越えるかというのが課題になってくるわけなんです。それで壁ができてしまうと、とてもではないですが、5年、10年...続くものにはなりません。

私たちの考えた方法は、「情報アーキテクチャー」と言います。情報もアーキテクチャーがある。構造があるんですね。構造を作って支えてあげると誰でもホームページが作れて、成長できるホームページが作れるということなんです。

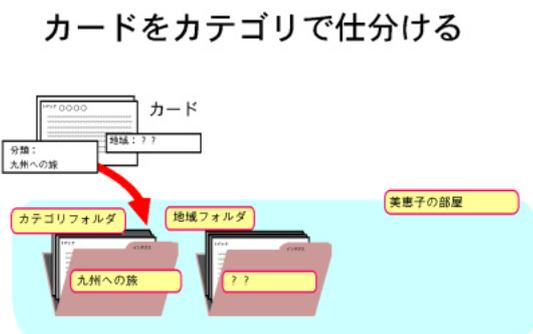
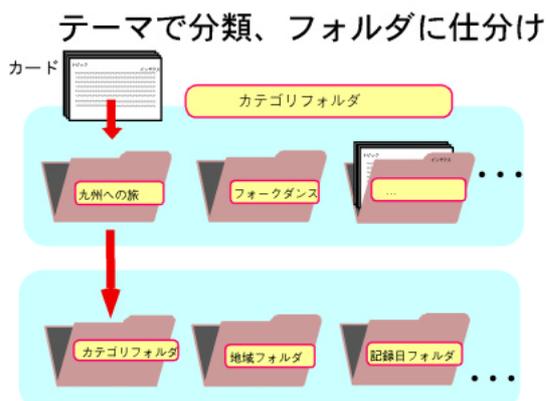


分類の仕方を学ぼう

最初は分類の仕方がわからなくても、だんだん学習していけばわかるようになってきます。それはとても大切な学習の意味のあることなんです。最初はわからなくてもいいんですが、それがたくさん積み重なるうちに、だんだん発見されてくる。そして整理の必要性がわかってくる。そして自分の整理ができるようになってくる。ここまでできれば立派なものですね。

これをどういうふうに整理するか。これをシステムの側で支援してあげるととても楽になるわけなんです。そして本当に自分が考えているように情報が整理できるようになっていくわけですね。ここがとても大きなポイントです。普通はそういう支援体系

がないので、どうしても途中で挫折してしまったり、大きく育てることができなくて、途中でやめてしまったりするわけなんです。生涯学習ですから、一生涯続けるということが目標ですから、これがどのように支援できるのかな、というのが長年の夢だったんですね。



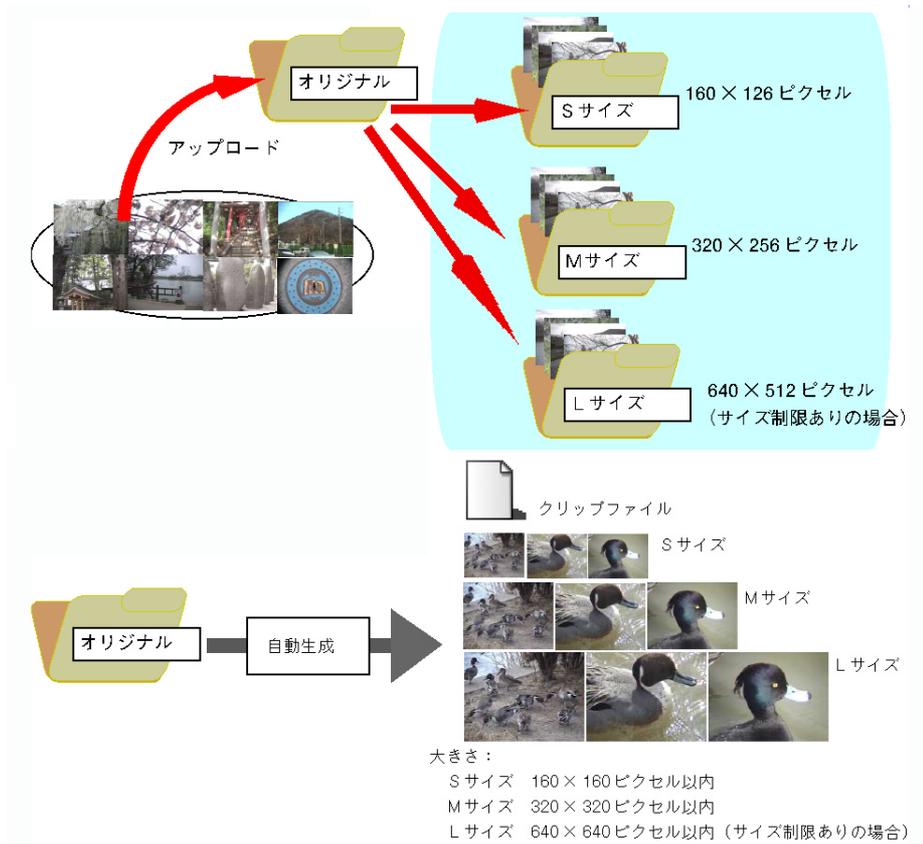


画像の加工は大変

ホームページを作るのは楽しい反面、たいへんな面もあります。特に素材を加工したりするのはたいへんだと思うんですね。画像を変換したりする。そういうのはどうしても避けて通れない。特にこういうでじかめの画像がとっても大きくなります。そのまま載せるととても重たくなります。ホームページにふさわしいサイズに小さくしないとイケません。すると画像の変換処理をしないとイケないんですね。加工しないとイケません。小さくしないとイケません。逐一とても面倒くさいわけですね。

そして画像もたくさんあると、1枚、2枚、3枚とたくさんといっぱい貼り付けますね。それもなかなかまたたいへんですね。

こういうのはとにかく簡単にしないとたくさんある素材が消化できないということになります。





1日で50枚整理する知恵

1日で50枚整理する知恵

1日デジカメで撮るとどれぐらい撮りますか？ たくさん撮りますよね。

高橋 ま、無制限。

無制限？（笑）

相馬 ま、40～50枚。

高橋 そのつもりだったのね。無制限に撮れますもんね。そうですね。すると4、50枚ぐらい当たり前ですか。

高橋 まあ、ちょっと旅行に行ったんだったらばね。100枚とか、当然そうなりますね。

なるほど。そういうふうには1日で50枚、100枚という量を扱うのはとてもたいへんなわけです。

高橋 そうです。

そうするとそれをどういうふうには整理するか。これはとても切実な問題になってくるんですよ。結局は手間がかかるから、それを整理しないでそのまま、ということになると、それは何もして埋もれていってしまうわけです。それはとてももったいないですね。

これは自分自身の体験の記録として、意味のあるものとして整理したいと思います。それを人に伝えたいと思う。やはりこれをどういうふうには支援できるかってことになってくるのではないかな、と思うんですね。

それで1日50枚撮ったら50枚がちゃんと限られた時間の中で整理できるってことがとても大切になってくるわけですね。

で、ページ作りにあまり手間暇かけすぎると、50枚の画像を整理するために、1日では終わりませんね。2日、3日、...1ヶ月。そうするとそういうものが度重なるともう続きませんね。ですから量の問題はとても大切なんです。ですからできるだけ短い時間で、例えば今日撮ってきたものは今日の夜のうちに全て整理してしまう。そしてできればコメントも付けて、今日の一日の記録っていうふうにはまとめたい。これができれば本当に支援できると思うんです。ですから1日。結構手間がかかるんですよ。だからその辺はなるべく手間がかからないようにしたいなあ、と思っています。それでこういう道具が必要になってくるわけなんですね。

「旅行に行ったら100枚とか、当然そうなりますね。」



デジカメでたくさん撮った画像をいかに整理するか

eポートフォリオは夢の実現



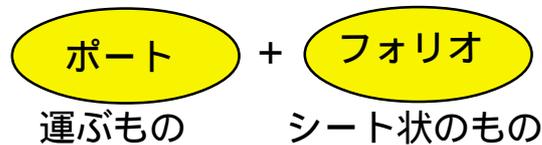
ポートフォリオは脳の外在化

端山先生と私はこの前段のメディアの、人のために役立つメディア、学習のために役立つメディアということと一緒に考えてきました。その結果、この「eポートフォリオ学習」というところにもつながっているわけです。

端山 そのポートフォリオという名前の着眼ですね。これが非常に重要なヒントになっていますね。ポートフォリオってご存知のようにね、紙状、シート状になったものを集めて入れて持ち運ぶもの。「ポート」「フォリオ」ですね。運ぶものっていう意味で「紙入れ」ってことになっているわけですけども、何でこういう



ポートフォリオの概念



人類のメディアの進化



ものができたかっていうことから考えると、これが非常に面白いのですね。これこうやると話が長くなるけど、歴史が長いんだからしょうがないので、ちょっと辿っていくと、一番最初、人間が記号を最初に書いたとはどこかという、土の、砂の上とか、木の切れ端に何かこう傷をつけたとか、一個の時、傷をつけて、二個のとき、もう一個傷をつけてとか、そういうところから始まったわけですね。相手は砂だとか石だとか、でかい、持ち運びも不便な、そういうところから始まったわけです。

それで紙になったときに一番ありがたいことは、勝手に大きさを決めて、自分が使いやすい状態にして、それを集めて積み重ねますと10枚や20枚軽く積み重ねることができる。その上に乗った情報量はロゼッタストーンどころじゃないですね。こういう歴史を経てきたときに、ポートフォリオの「フォリオ」。フォリオというのはシート、もともと葉っぱという意味なんですね。1枚1枚に分かれているものがフォリオです。これの価値がどれほど大きいかわかるじゃないですか。それが人間の技術が長い間かかって、ようやくここまで来たものなんです。もう一回これを辿って考えてみると、なんで人間の技術がここまで辿ってきたのか。来たがったのかということ、情報の処理をする脳の構造。脳の情報処理の構造がそのようにできているからなのです。

で、今、この「eポートフォリオ」。これを電子で、コンピュータの上でやりますね。と先からおっしゃっているように重さがない。かさばらない。ですから、このブック型(ノートパソコン)を1枚持っていれば、世界中どこへ行っても何千冊かの本に値する情報が、この中に何千ものポートフォリオがここに入っている。何万も入っているわけですね。そうするとこれは厚い本とか、厚いホントのポートフォリオを持っていなくてもいい状態。ということは、元々の脳の状態に近くなってきたと言ってよくないでしょうか。

やはり人間のテクノロジーというのは、一番必要なことを一番楽なようにするために。手で持っているのは重くていやなんですよ。ですから頭と同じことを、頭脳と同じことをするものをコンピュータについにやらせることができるようになった、ということが「eポートフォリオ」だということですね。



人類は自己実現に踏み出す

メディアと教育、教育支援のメディアという観点からはどのようにお考えになりますか。

端山 そう。それでね、もうこの頃は、私は教育ということを考えていないんです。「学習」なんですね。自己開発、その前に自己実現。要するに人間が人間として成立していくことを自分で一生懸命やっていく。その時には昔から皆さん、学校でがんがん教え込まれたようなあの教育よりも、自分にとって必要な機能が手元にある。それでコンピュータにここ（手）で触ると、世界中のあらゆる情報を手に取ることができるようになる。そういう機能があるとね、従来のあのタイプの学校というのは、あんまりいらなくなってくる。その助言者、支援してくれる人さえいれば、これは本当の教育者じゃなくても、あることについてよくよく知っている人がいれば、その人に「これはどうなんでしょう？」って言うと、「これは実はこういうことなんですよ」と教えてくれる。別なことは別な人に聞く。これも別な人に聞く。ところがインターネットでコンピュータの上でやると、その別な人、別な人が、たくさんの方がこの中に入っちゃっているわけですね。こんなありがたいことないじゃないですか。そうすると、もうがんがん教え込む教育じゃなくてよい新しい形を考えた方が自己実現…。一人一人違うんですよ。顔が違うように、一人一人の特性が違う。したらその特性が一番活きるような形の支援機能が望ましい。こ

れが、確定した現代の方向性です。その意味で言うと、eポートフォリオが何をしてくれたら一番いいか。もう回答は見えていますね。教え込むのじゃ困るんです。

それで先ほど言われた「教育」という言葉で言うと、educationという英語がこれなんですけれども、educationというのは実は語源的に言うと教え込むという意味じゃないんですよ。あれは「引き出す」という意味なんです。「eduko（エドゥーコ）＝引き出す」をすることがeducationですね。これは引き出すということなんです。何を引き出すかという、一人一人が持っている望ましい特質。一番望ましいものをその人から引き出すことが教育だと。これはラテン語ですからローマ字。もう2000年も前に彼らはそう考えていたわけですね。ところがいつの間にか、解答があるものの解答を教え込むのが教育になってしまった。このおかげで人は非常に潰されました。主体性が潰されました。その意味で教育を超えた本当の意味での自己学習のためには、誰によっても潰されることのない…。自分がこれは必要だと思ったらこれがある。これがわからなくなった時には、この点については何だろうと考えると、その情報はまた別なフォリオに書いてある。別なポートフォリオを探してくれればいい。今は人類の歴史の中で殆ど初めて人々が、一人一人が主体性を持って自己実現をすることが可能な世界の入口に立っている。こういうのを見るとその実感が非常に強いんですね。ですから、非常に大事なものを始めてくれたと思います。



自分の可能性を引き出そう！

ポートフォリオ学習についていろいろ考えてきました。そして、皆さんのご意見などもご参考にしてきました。ポートフォリオはこれが答えだってものはもちろんありません。自分で考えて、じゃあ、どうしていけばいいんだろう。自分で答えを探していく。そこに一番の面白さがあるんですね。それを常に自分に問いかけていただきたいと思います。

【2】eポートフォリオを作ってみよう

eポートフォリオで生き甲斐づくり



面白さが増幅する面白さ

面白さが増幅する面白さ

何かとても面白いなあ、ということに一度気づくと、自分の興味というのは、それに向かって働くようになります。すると面白さはさらに増幅されていく。そういうふうな効果を生んでいきます。たぶん皆さんもそういう面白さをお感じになっているのではないかなと思いますけど、いかがですか？

高橋 私も遠いところの、いわゆる、ホームページの友達はいるわけですね。そこにポートフォリオの、プッシュコンのあれで送ります。と、「あれ、何だか。見たことない」とか、そういう興味を示してくれますね。そういう質問があります。姫路のご婦人のメール友達がいるんですけども。最近、そういう質問ありますね。だから他の地域にも広がってもらいたいと。こういうふうに思っています。

相馬さんは何かお感じになることはありますか。

相馬 そうですね。ホームページを作るというのは自分で、自分がやってき



山形県 山形市
高橋敬二さん



山形県 山形市
相馬克正さん

たものとか、そういうものを表現できる。また自分の感動したもののとか、そういうものを表現できる場所。よその人にわずらわされなくて、自分の好きなホームページを作ることができるというのは、やはり一つの楽しみですね。



記録を綴ると「自分史」になる

記録を綴ると「自分史」になる

相馬 60過ぎてって言いますか。ある一定の年齢を過ぎてから、生活して生きてきたことの証みたいなのを、やっぱりある程度の年齢になると、皆が何かそういうことをやってみたくなくなるんじゃないんですかね。

その辺、若い人たちとは違うのかな？ 自分のポートフォリオを作りたいと思ったりしますか。

大場 そうですね。でも長い時間経ったりすると後から忘れてし

まったりとか、そういうことがあるんで、今のうちから記録しておくというのは大事なかなと思いますね。

若い人たちから見れば、今作っているものが自分の記録、履歴になって、生きたことの足跡になっていく。生きたことの証拠になっていくというふうなことなんです。『自分史』が。歳とってから書くというのが自分史と錯覚されているんですけども、実はそうではなくて、日々やっていることを記録していくということが10年、20年続いたときに自分史になっていくと…。それはある意味、これまで誰も経験したことがないかもしれないですね。

高橋 そうです。

若い人たちもこういう記録をしていく。自分の興味あることを綴っていくということで、それが末長く残っていくように。そして自分の証になるように。そういうふうな考えてもらいたいかもしれないですね。

それから中高年の方の、生き甲斐創造支援という、とても大切なメッセージをいただいたような気がしますね。



東北芸術工科大学大学院
大場史博さん

eポートフォリオの第一歩

出演：

学ぶ人：山田美恵子さん（山形県山形市）

助言者：前川道博（東北芸術工科大学専任講師）



山田美恵子さんの
eポートフォリオ



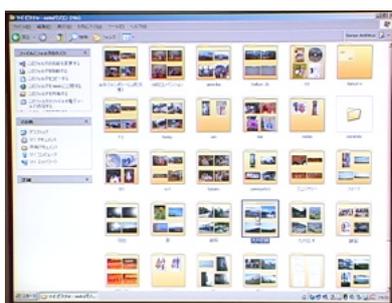
eポートフォリオを作ろう

前川 それではこれからeポートフォリオ、山田さんのポートフォリオを作る、ということで進めて行きたいと思います。山田さんにはこれまでに、パソコンに取り込んでおいてもらった画像などをあらかじめ持ってきていただきました。

はい。山田さんはどういったことにご関心がありますか？

山田 いろんなところへ旅行したとか、行事とかそういったのを一応記録に残しておきたいなと思って、デジカメでいろいろ撮ってあります。

前川 なるほど。ちょっとどれかいくつか見せていただけますか？



山田 はい。これは2年前に九州に行ったときの写真なんですけれども。

前川 九州に行かれた理由というのは何か？

山田 一応、実家が九州なものですから、夏と冬に毎年2回行ってるものですから。これは九州の実家の近くなんですけども、雉車っていうのが家の近くのお土産です。

焼酎の印としてとっくりみたいなのがあるんですけど。そういうパーキングエリアがあるんです。

これは九州と本州のつながりで九州の方のパーキングエリアです。

前川 関門海峡ですか。

山田 関門海峡です。布刈（めかり）っていう。（別の写真を見て）これも近づいた写真です。

前川 関門大橋ですか。

山田 はい。関門大橋です。だんだん近づいて来て撮った写真です。

前川 じゃあ、こういった記録を今度はポートフォリオにしていこうということですね。

山田 はい。

前川 考え方なんですけども、山田さんのようにいろんなものが記録されています。そういうものが自分のポートフォリオの全体になってきます

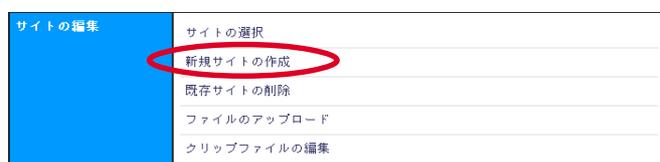


ね。その中に入っていきといいんではないかなと思うわけです。ですから、たとえばご趣味のフォークダンス、あるいは毎年行かれているご実家のある九州への旅。こういうふうなものが継続性のあるテーマになっていくかもしれないんですけども、それ以外にもたぶん記録されたいものとかがあったりするかなと思うんですよね。ですからそういう、いろいろ諸々の記録をすべてここに置いていくという考え方でポートフォリオを作られるといいんではないかなと思いますね。それが5年、10年、あるいはもっと続くものになっていくんだらうと思いますね。

ということで、こういうもの全体を入れるポートフォリオをまず作ってみると。そこにまず1ページ、また1ページ入れてみるということを進めていったらどうかなと思っています。

それで全体をまず作ってみましょうか。で、その入れ物を作るんですが、私たちのところではPushcornという道具を使って、ポートフォリオを作るという形で進めているので、それをこれから試してみたいと思います。

前川 はい、このPushcornというものを使ってポートフォリオを作ります。これから…。まったく今ゼロの状態です。ですので、まずそのポートフォリオの大きな入れ物を作ります。



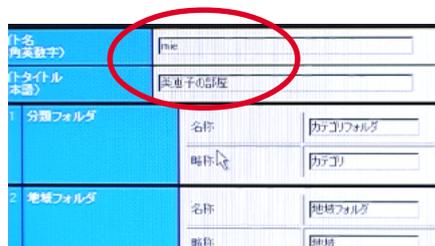
それで「新規サイト」の作成ですね。これでポートフォリオになるサイトを作ります。

ここに何か名前を入れてもらいたいですね。サイトのこれはアルファベットでいれます。

いろんな情報が入る自分の情報の入れ物になるわけですけども、それに対してどういう名前をつけますか？

山田 「美恵子の部屋」にしたらいいかしら。

前川 「美恵子の部屋」にしましょうか。はい。



で、あとその今度カードを作ったり情報を入れていく時にいろんなフォルダというものができんですけども、あらかじめ標準的な分類、地域、記録日、登録日というふうに4つセットしてあります。ひとまずこれでいいかもいけませんね。はい、じゃあこれでオッケーということにしますか。

「登録」をクリックしてください。

e ポートフォリオのタイトルは？

美恵子の部屋

ワンポイントアドバイス

何でも放り込める大風呂敷なタイトルにしよう！

5年、10年、...と続くのがポートフォリオ。テーマもいろいろ。長い間には興味なども変わる。そうなっても、どんどん情報を追加できると長続きできる。

山田さんのように自分の名前をつけると、とても大きい情報の入れ物(eポートフォリオ)になる。

画像チェック&アップロード



前川 はい、それでこれからそのサイトを作っていくわけですけども、ポートフォリオになるサイトを作っていくんですけども、手順としてはまずページを作るための画像とかファイルを送って、それを整理するというので進めていきましょうか。

そうすると「アップロード」ですね。

それでこれからファイルを送るんですが、アップロード先が選ばれていますけれど、これを「新規」にさせていただいて、じゃあ先ほどの九州のをまず入れてみますか。

サーバーのほうにこれからファイルを送ります。画像ファイルを送ります。

画像の整理の仕方なんですけど、2002年なんですね。そして日付はわかってるんですね。8月の？

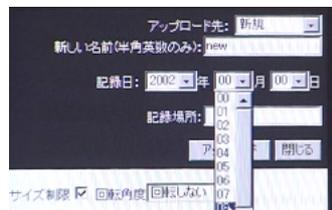
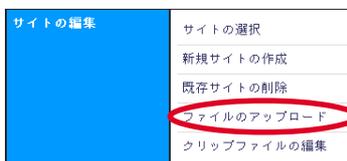
山田 11日。

前川 11日。この「新しい名前」と書いてあるんですけども、ここにそれを入れる場所の名前をつけてもらうといいかなと思います。

名前はどういうふうにつけてもいいんですが、わかりやすい忘れない名前がいいと思いますよね。そうするとたとえば2002年の8月11日というふうな名前でもいいかもしれません。たと

えばですけども、2002/(スラッシュ)0811。

これは場所はなんかみんな同じなんです。ちょっと違うんですけど。



山田 ちょっと違いますね。

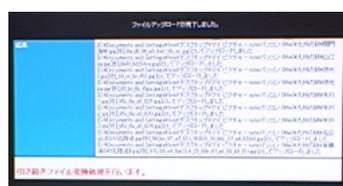
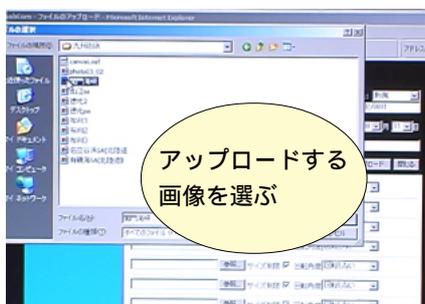
前川 ちょっと違いますね。ちょっと場所の名前はあとから入れるということにしましょうか。まずファイルを選んで送ってみましょう。

画像を選んでいきます。それから次とどんどん選んでいきましょう。

はい、こんなところですかね。じゃあこれを

全部まとめて送ります。「アップロード」ですね。もうちょっと待ってください。

転送(アップロード)が終わって、今画像のサイズとかを変換する処理をやっているところなんですね。はい。これで終わりました。



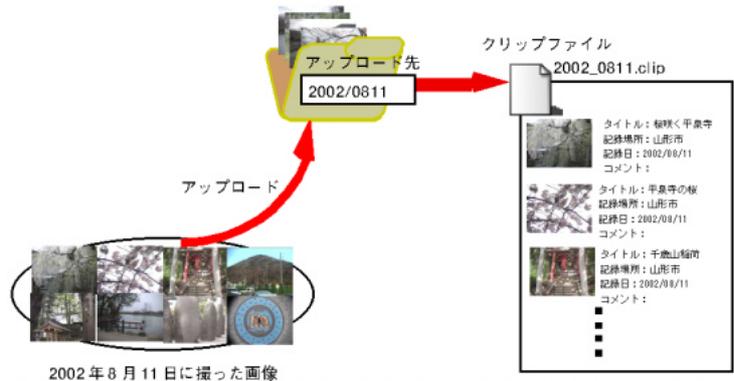
PushCornでは画像サイズを自動的に変換してくれます



アップロードと同時に画像サイズも変換



クリップファイルで画像を整理



前川 次は今送った画像が「クリップファイル」というものに入っているんですよ。この「クリップファイルの編集」というのを選んで、ちょっと見てみましょうか。

「既存のクリップファイル」というところで、今つけたのは2002の8月11日ですね。そうするとこういうふうに出てきます。

それで、こういったものひとつひとつについて、たとえば、そのタイトルをそれぞれ。内容のわかるタイトルをつける。で、整理していくといいですね。

それから日付とか場所とかものによってたぶん違いますよね。そのへんを少しこう整理しておくといいと思うんですね。そのためにこのクリップファイルというのを使って整理するようになっています。

データの入れ方なんですけど、「全て展開」というのをクリックすると、こういう入力するフィールドが出てきます。ですからここにタイトルとかをつけていけばいいんですね。

はい、それでいいですか？

じゃ、あと他のものもタイトルをつけたり、場所を書いたりということやってみるといいですね。

どうでしょうかね。ひとまずこれで先進めますか。

これをこう書いて保存するときにはこの「登録」を押せばそれで

終わります。

さきほどタイトルをつけたのはファイル名ではなくて、それにつけたタイトルに変わっているわけですね。これでオッケーです。



フォルダに仕分ける： テーマで分類

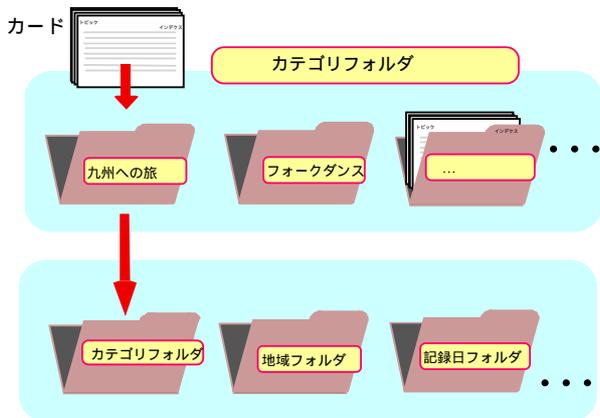
前川 それで、まず1ページを作ってみたいと思います。最初の1ページですね。実はこれは5万ページ、10万ページになるかもしれないんですけども、その最初の1ページですね。

山田 はい。

前川 それをこのページから作る始めるということやっしていきたいと思います。

その前にやっぱりちょっと順番から言うと、フォルダを先に作

テーマで分類、フォルダに仕分け

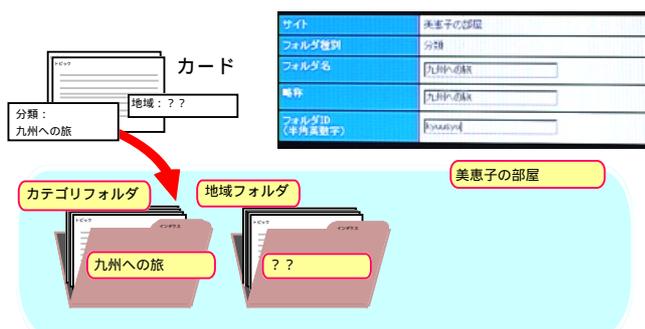


まずひとつこの「新規」でその九州への旅ですね。それをここで作ってみましょうか。どういうふうなタイトルとつけるといいですかね。

「九州への旅」でいいですか？そうしましょうか。

山田 そうですね。それがいいですかね。

カードをカテゴリで仕分ける



美恵子 次の「フォルダ ID」なんですけども、アルファベットでここは入力しましょう。

前川 略称というのはこうタイトルがタラタラ長いときに短くするんですけど、それほど長くないのでそれと同じでもいいと思いますね。

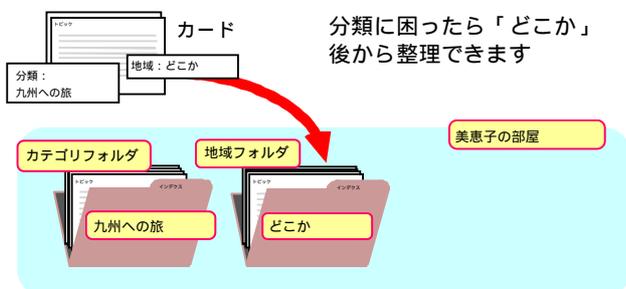
コピーしてペーストするといいと思いますね。コピーして、貼り付けですね。

「kyusyu」でいいでしょう。いいですか。これを「kyusyu」とつけました。これでオッケーですね。

はい、これでカテゴリのほうのフォルダを仕分ける先のフォルダをひとつ作りしました。

せっかくですから場所のほうもなんか作ってみましょうか。そうすると「フォルダの種別選択」ですね。地域というのはまだこれからなんですけども、そこを設定してみましょう。

カードを地域で仕分ける



それから今度は地域別のフォルダの仕分け先として、熊本県、熊本というふうに書きました。ここへ入れて行きます。

ひとまず必要入れ物。これからまた追加で違う場所を入れたいとか、違うカテゴリを入れたいというときにはまた同じように追加していけばいいんですね。



カードを1枚作る

前川 じゃあ次はサイト編集に戻って、最初のカードを一枚まず作ってみたいと思います。

アップロード	ファイルをアップロードします。
クリップファイルの編集	クリップファイルを編集します。
カードの編集	カードを編集します。
フォルダの編集	カードを入れるフォルダを作ります。
基本設定	処理の基本設定をします。

「カードの編集」ですね。これから入れるのでもちろん何もありません。新規ですね。それでこれを使ってカードひとつをつくります。これがあのトピックをひとつ作るというイメージです。それで素材をまずこう使って、ここのページに貼り付けるということで進めていくとページが作りやすくなりますね。

そうすると先ほどのこれなんですけども、このときは2年前、九州に行ったということなんです。まずこれ画像を貼り付けてみましょうか。

この「項目追加」というのから、そうですね「画像」というのを選んでいただきましょうか。ちょっとこう下に、「編集」をクリックして、これでいいですよ。これを貼り付けます。そうするとこの画像がここに貼り付きます。

あと何か説明も書けるといいですよ。何か一言説明書きましょうか。そうすると「説明」というところで、「説明文テキスト」を選びますか。

例えば今こういったような話を、ここにこう旅の思い出、記憶として説明が一言あると、みなさんがわかるようになるわけですよ。それをなんか手短かに書いていただけるといいのではないかなと思うんですね。どういうふうに説明されますか？

山田 そうですね...。(説明文を書いて)

前川 はい。これでよく伝わりますよね。画像を一枚貼り付けたら、説明もちゃんと書くと。非常にその狙いのよくわかる情報の伝達になるわけなんです。自分のなかでもこれがいったいどういう意味のあるものだったかということが整理されるわけですね。

山田 そうですね。

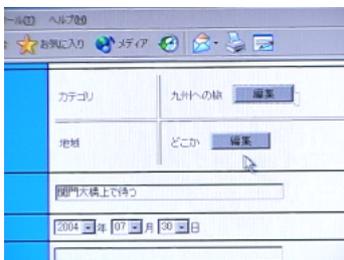
前川 これをどういふところに仕付けていれるのかというのを設定します。このフォルダの仕分け先なんです。この「カテゴリ」から先ほどなんでしたっけ。熊本...九州の旅でしたっけ。「九州への旅」というのを選んでいただいて、これで「閉じる」といいんです。

山田 「閉じる」でいいんですか？

前川 はい。これで「九州への旅」というところに仕分けられたわけです。

はい、これでひとつページができました。

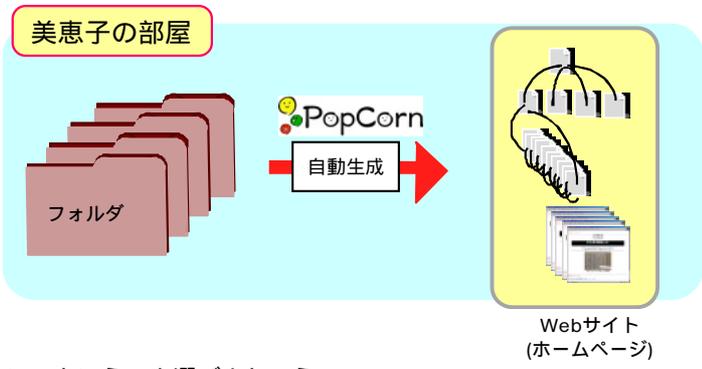
それではこれを登録します。新規保存してよろしいですか？はい、オッケーですね。これでひとつカードを作りました。



サイト生成、小さくても大きな一歩



PopCornで瞬時にサイト生成



前川 そうすると今度は、これを見ることができるようになります。この「サイト編集」というのを選んでいただいて、この「ポップコーン」というのを選びましょう。

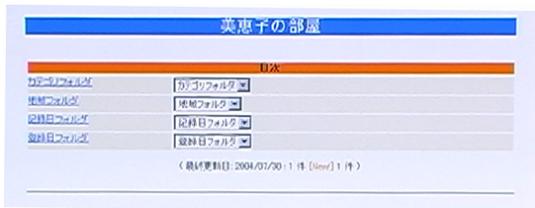
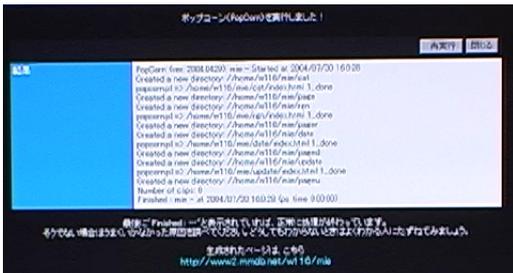
これは何かというと、今データを入れました。ただそれはどこにも見れる状態にはなってないわけですね。今度このポップコーンというので、サイトの自動生成というのをやります。そうすると今度は誰もが見てもらえるような形のあるホームページができるわけですね。というわけで、この再生成というのをやってみましょうか。

はい、これでいろいろズラズラっと出てきてますが、この今の瞬間にホームページを作ったわけなんですね。それでこの生成されたページはこちらというのでとりあえず見れるようになっている。それを選んでみてください。これが今できたページなんですね。

いろいろなフォルダに仕分けられていますが、まずカテゴリから見ていきましょうか。「九州への旅」。これはまだ1件しかありませんけどもひとつ入れたわけですね。そしてこの関門大橋で、まずというふうに、ページができているわけですね。簡単なページですけれども、画像一枚を説明していると、ただ説明もちゃんとわかるように。

山田 書いてありますね。
前川 書いてありますし、画像一枚みせられても、単なる画像ではなくて、意味のある情報として伝わっているわけですね。
山田 そうですね。

前川 ひとまずオッケーですか。



↑サイズというのをクリックするともっと大きく出るようにも意味のあることです。

ひとつのページを作る。これがとても大切です。これが5年10年歩なんですね。これがひとつできたということは、2ページ目も3できるという可能性が開かれたということなんですね。



インターネットに公開しよう

前川 こういうふうですねPushcornを使ってwebサイトを作ることができます。ポートフォリオを作ることができます。

まずこれでいいということになったら、今度はこれをインターネットに公開します。それを次にやってみましょうか。

山田 はい。

前川 その手順なんですが、「基本設定」ですね。それを選んでください。

そして「サイト基本項目」というのがあります。これを「公開にする」といいわけですね。それで「登録」で、オッケーです。

ちょっともう1回この「サイト基本項目」に行ってください、これをクリックしてみてください。

yamagata-net というこの上のURLを。

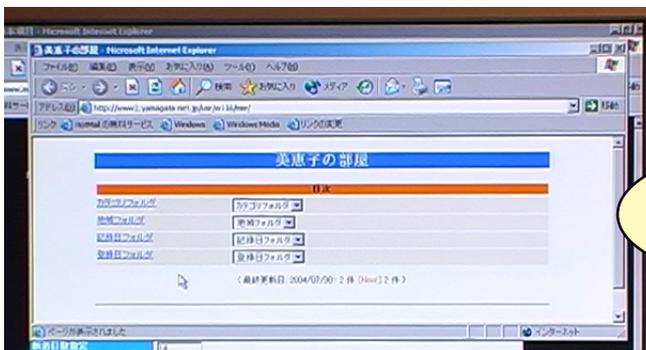
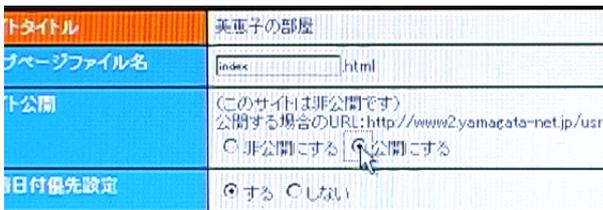
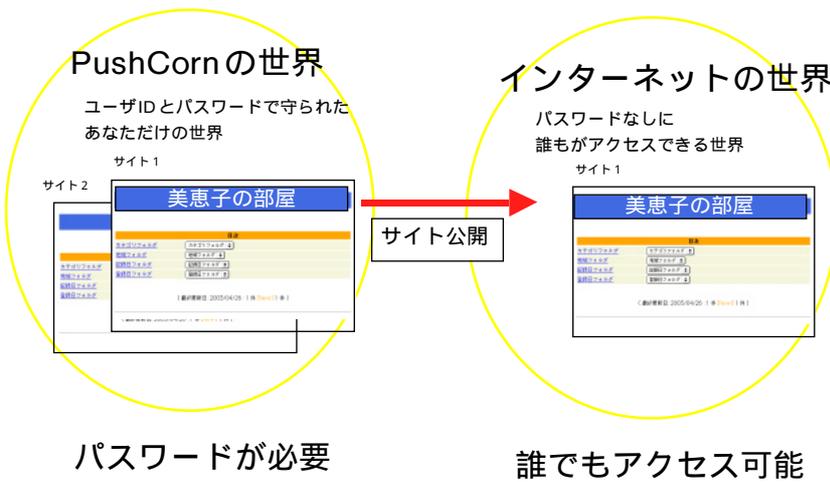
これで出てきました。これが公開されたホームページなんですね。

先ほどのサイトは、まだ公開する前の段階なので、他の方はパスワードがないと見れないようになっています。

山田 あ～あ

前川 これはパスワードなしでも公開される、別な形でインターネットに公開されているんですね。今度は

このURLといいますけれども、ホームページのアドレスをみなさんにお知らせいただくと、私のこれを見てくださいというふうにお知らせすれば、これをみなさんに見てもらえるわけですね。



「公開設定」をすると
インターネットに公開できる



事例「マッピング霞ヶ浦＊」

前川 私の前作っているサイト、マッピング霞ヶ浦というサイトなんですけども、これは97年から作り始めてもう7年になります。

Popcorn、pushcornというのも実はこのサイトを作りながら、どういうふうなものにすると皆さんに

役に立つツールになるだろうかというのをあらかじめ自分のケースで検証したんですね。それがこんなふうに未だに更新できるサイトになっているわけなんです。



水戸街道の面影。興味あるものは「撮って記録」

これは土浦というところで水戸街道のその面影が少し残っている坂道なんですけども、赤信号の時にちょっとデジカメを取って、パシパシと撮ったものなんです。

山田 へ～え。

前川 これは霞ヶ浦を車で回っていたら、歴史的なこのコンクリート造りの面影のある古い橋なんですけど、それが取り壊されていたりして思わずパシパシと記録を撮ったものなんです。



それで全体はどういうふう

に括っているかということ、このようにですね、かなりたくさん括り方があります。全てあわせるとトピックの数が4000くらいありますかね。4300。クリップ入れると6万。それぐらいの大きさにもなるということなんです。

これぐらいすごくたくさんありますが、それでもちゃんと収まっているわけです。

山田 そうですね。

前川 ですから山田さんのサイトもこれぐらいまで育っていくという第一歩を踏み出されたわけです。

マッピング霞ヶ浦＊ - 分類目次



(更新日: 2004/06/21)

目次

(合計 4304件 New! 3件)

No.	項目	件数
霞ヶ浦＊共通		
▼01	新着情報	3件 / New! 3件
▼02	このサイト上について	3件
▼03	霞ヶ浦への観光	5件
▼04	霞ヶ浦の歴史	8件
▼05	霞ヶ浦の環境問題	20
▼06	アザミが霞ヶ浦を汚す	21
▼07	霞ヶ浦の観光	22
▼08	霞ヶ浦の観光	23
▼09	霞ヶ浦の観光	24
▼10	霞ヶ浦の観光	25
▼11	霞ヶ浦の観光	26
▼12	霞ヶ浦の観光	27
▼13	霞ヶ浦の観光	28
▼14	霞ヶ浦の観光	29
▼15	霞ヶ浦の観光	30
▼16	霞ヶ浦の観光	31
▼17	霞ヶ浦の観光	32
▼18	霞ヶ浦の観光	33
▼19	霞ヶ浦の観光	34
▼20	霞ヶ浦の観光	35
▼21	霞ヶ浦の観光	36
▼22	霞ヶ浦の観光	37
▼23	霞ヶ浦の観光	38
▼24	霞ヶ浦の観光	39
▼25	霞ヶ浦の観光	40
▼26	霞ヶ浦の観光	41
▼27	霞ヶ浦の観光	42
▼28	霞ヶ浦の観光	43
▼29	霞ヶ浦の観光	44
▼30	霞ヶ浦の観光	45
▼31	霞ヶ浦の観光	46
▼32	霞ヶ浦の観光	47
▼33	霞ヶ浦の観光	48
▼34	霞ヶ浦の観光	49
▼35	霞ヶ浦の観光	50
▼36	霞ヶ浦の観光	51
▼37	霞ヶ浦の観光	52
▼38	霞ヶ浦の観光	53
▼39	霞ヶ浦の観光	54
▼40	霞ヶ浦の観光	55
▼41	霞ヶ浦の観光	56
▼42	霞ヶ浦の観光	57
▼43	霞ヶ浦の観光	58
▼44	霞ヶ浦の観光	59
▼45	霞ヶ浦の観光	60
▼46	霞ヶ浦の観光	61
▼47	霞ヶ浦の観光	62
▼48	霞ヶ浦の観光	63

ワンポイントアドバイス

最初からしっかりカテゴリを思い描けなくても心配いらない。トピックが50、100と増えてきたからカテゴリ分けするのを考えてもよい。とにかく先はとも長いのである。

数が増えてきたら、カテゴリを考えればよい。PushCornでは分類をしなくても、「未分類」というカテゴリに分類される。

溜め込めば整理の筋道がみえてくるもの。「情報整理術」の極意かもしれない。



体験を綴るのはまとめる知恵

前川 たとえばこれどういうふう括っているかちょっといくつか例をお見せしたいと思いますけれども、霞ヶ浦に行ったときに、船に乗せていただいて、そのときにずっと回ってきました。そのときの様子をたくさん撮ってるわけなんですけれども、これはビデオで撮ってるので静止画がたくさんできてはいるんですが。

早朝に土浦の港を船で発ってですね、出かけていくと。画像がたくさんある。これを全部クリップにして載せているわけです。

そして次に船、マリーナに集合して、これをまたクリップたくさん載せてあります。予定の人が集まってくる。というストーリーになっていますね。

トピック1：早朝の土浦港 2：マリーナに全員集合 3：新調査船 4：いよいよ出航！

撮った順に画像を並べ、区切りよく束ねてタイトルを付ける。1日の画像を整理する極意。

5：窓がニジニジ、水鳥...

これが乗せていただいた調査船なんですけれども、これにこれから乗せていただく。ということなんです。とても新しい船で、もの珍しいのでいろいろ撮っているわけです。

いよいよ出発して、これは船長さんなんです。そうすると土浦港がだんだん遠ざかっていくという風景になっていきますね。

朝っぱらなので、そして冬です。外がなかなかこう見えません。ニジニジしてしまうわけですね。そうすると霞ヶ浦の風景がこう見えているわけなんです。どんどん沖合いに向かって進んでいるということなんです。

土浦の町がだんだんと遠ざかっていく。カモメとかカモも飛んでいる。そんな風景ですね。筑波山もよく見えています。

こんなふうにしてずっと撮っていきました。これは一日の体験なんですけれども、たくさんになりますよね。山田 そうですね。

前川 物語ができちゃうわけです。「これがこうでこうでした...」っていうふうには書くと、それ一つ一つがトピックで、10、20という、もっとあるいはもっとたくさんのトピックにして束ねると一日のできごとが綴れると。これ全体をひとつのカテゴリにすればいいわけです。というふうな整理の仕方、いつも整理をしています。これが私の霞ヶ浦のサイトですね。



(79件 / クリップ 1250件)

No.	項目	クリップ数
01	「[03/01] 霞ヶ浦・横利根川舟航体験」について	—
02	[03/01] 舟航体験・動画クリップ集「船内トーク」	—
03	[03/01] 舟航体験・動画クリップ集「船内トーク」	—
04	[03/01] 正月2日・早朝の土浦港	12件
05	[03/01] 霞ヶ浦京成マリーナに全員集合	13件
06	[03/01] 新調査船「がいあ世田」号	17件
07	[03/01] がいあ世田号で出航！	23件
08	[03/01] 舟航沖へ向かう	20件
09	[03/01] ユリカモと遠ざかる土浦市街	15件
10	[03/01] 船内乗る	15件
11	[03/01] 筑波山、ソリッド・日本1!	11件
12	[03/01] ユリカモがついて来る訳は?	9件
13	[03/01] 土浦入京観・牛久波から望む	16件
14	[03/01] 赤いおまの雲	9件
15	[03/01] 前方に馬場の段丘	14件
16	[03/01] 土浦入京観・八井田沖から望む	8件
17	[03/01] 馬場からの京観#1 - 出島津岸線	24件
18	[03/01] 馬場からの京観#2 - 土浦入の豊原	24件
19	[03/01] 馬場からの京観#3 - 更野橋	20件
20	[03/01] 馬場の段丘	4件
21	[03/01] 海から見た牛久波へ水郷	25件
22	[03/01] 三叉原京観・牛久波から	17件

体験をトピックにして綴ると物語ができ、てカテゴリにまとまる。



大風呂敷にして全てを包もう

前川 どうしてもこうテーマがこう目の前にあるとそれで作りたくなる。

そうするとテーマっていうのは5年10年経った時に自分の興味も変わってくる。

そうすると(テーマが)変わったときにまた新しいものを作ると、いくつもこういろんなものを作ってしまふことになるわけです。そうするとやがては5個10個というふうに(サイトが)たくさん増えていってしまいます。そうするともう管理できなくなりますよね。

山田 そうですね。

前川 自分でどんなサイトを作ったのかがわからなくなりますよね。

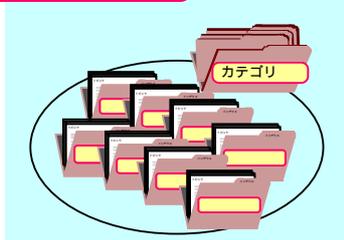
山田 ですね。

前川 なるべくこう大きく、大風呂敷ということなんですけれども、大風呂敷にしてすべてを包んであげる。こういう考え方がポートフォリオなんです。あんまりテーマで細分化しないほうがいいですね。

むしろテーマで細分化するときは、カテゴリで分ける。カテゴリフォルダを、仕分け先を分けてあげるという考え方ですね。そのほうがいいです。

大風呂敷は長続きの秘訣

サイト「マッピング霞ヶ浦*」



入れ物は一つ
カテゴリで増やそう

マッピング霞ヶ浦* - 分類目次

目次	項目	ページ数
001	概要情報	258 / total 258
002	こめすゝについて	38
003	霞ヶ浦への滞在	158
004	霞ヶ浦の歴史	88
005	霞ヶ浦の自然環境	38
006	霞ヶ浦の文化	258
007	霞ヶ浦の観光	658
008	霞ヶ浦のグルメ	858
009	霞ヶ浦のイベント	1058
010	霞ヶ浦の歴史(中継)	1258
011	霞ヶ浦の歴史(続)	1458
012	霞ヶ浦の歴史(続)	1658
013	霞ヶ浦の歴史(続)	1858
014	霞ヶ浦の歴史(続)	2058
015	霞ヶ浦の歴史(続)	2258
016	霞ヶ浦の歴史(続)	2458
017	霞ヶ浦の歴史(続)	2658
018	霞ヶ浦の歴史(続)	2858
019	霞ヶ浦の歴史(続)	3058
020	霞ヶ浦の歴史(続)	3258
021	霞ヶ浦の歴史(続)	3458
022	霞ヶ浦の歴史(続)	3658
023	霞ヶ浦の歴史(続)	3858
024	霞ヶ浦の歴史(続)	4058
025	霞ヶ浦の歴史(続)	4258
026	霞ヶ浦の歴史(続)	4458
027	霞ヶ浦の歴史(続)	4658
028	霞ヶ浦の歴史(続)	4858
029	霞ヶ浦の歴史(続)	5058
030	霞ヶ浦の歴史(続)	5258
031	霞ヶ浦の歴史(続)	5458
032	霞ヶ浦の歴史(続)	5658
033	霞ヶ浦の歴史(続)	5858

1ページ、1ページと作ろう

前川 ポートフォリオということで、みなさん構えてしまう傾向がどちらかというにあります。ですけれども、大切なことはまずひとつ作ってみることなんです。これを何よりもお勧めします。ひとつできればふたつできるんです。ふたつできればみつできるんです。ひとつも作らないといつまでもできないですね。

これでズルズルと1年でも2年でも続いてしまうと、できるものがないまま、1年、2年とあっという間に過ぎていきます。とてももったいないですよ。ですからまずひとつページを作ってみる。そしてやり方も全てわかる。そうすると次もできる。ということになってこれを続けていけばいいですね。

これを一生継続していただくと、知らず知らず、千ページ、1万ページになっている。ということになるわけなんです。

山田 そうなんです。

前川 とても簡単な第一歩なんですけれども、とても大きな歴史のある取り組みの一步の踏み出しなんです。

山田 そうですね。忘れないようにしたいと思います。

前川 じゃあこれからがんばってください。

山田 はい、ありがとうございます。



面白さを無限大に



教えることは10倍面白い

ポートフォリオを作り始めるとだんだん面白さにはまっていく人がいます。もうそうなれば言うことありません。そこから今度はもっと楽しさを他の人たちに伝えていってあげたり、自分でもっとそれ以上の面白さを創造していく。そういうことを考えていただくと、さらに楽しくなっていくと思うんですね。

そこで是非お考えいただくといいたくなことは、自分が得たものの、それを他の人に伝える。教えるっていうのは...。人から教えてもらう。その一つのお返しでもありますが、人に教えるっていうのが一番自分にとってプラスになる学び方なんです。これはとても大切なポイントなので、皆さんにもおすすめしたいと思っています。

す。教えることは学ぶことよりも10倍面白いんです。

これまで学校というのは先生がいて、教わる人たちがいて、その関係で成り立ってきました。ですけれども、これからは皆でお互いに教えあう、学びあう。こういう学びあいができるといいと思うんですね。そのためにも自分が興味あるものを持っていて、人に楽しさを伝えられる。そして、人からも刺激を受けてそれが自分の力になる。そういう力を持っていくということが求められていくことなんだと思うんですね。

昔、例えば寺子屋というものは、その時々で先生が替わる。あることを学んだら、今度はその人が先生になって皆に教える。それを役割を替えて皆で回していく。非常に全人格的な教育が行われたと言われていました。まさに今の、こういう道具を使ったポートフォリオを使った学習というのは、それを再び実践できる一つのケースになるんだと思うんですね。

人に教える。そしてさらにそれが自分の力になっていく。そして人にも学ぶ面白さを伝えるっていう役割を果たして楽しさの輪を広げていくと。そういう展開をお考えいただけるようになるといいかなっていうふうに願っています。



人もいろいろ、分かち合い

世の中にたくさんいろんな人たちがいます。いろんな世界観があります。そして考えがあります。そしていろいろな専門分野、バックグラウンドがあります。場所が違えばその状況も全然違います。そういう多様な世界がこの世の中なんですけれども、そういういろんな人たちが情報発信できるようになると、それがまた豊かな社会を作り上げていくわけなんです。

今、プッシュコーンという道具を使って、全国のいろんな人たちが、それでいろんなサイト、ポートフォリオ作りを始めるということにきています。そうすると実はいろんなものがあって、とても楽しい世界なんです。こういういろいろやっている人たちが他にいと、いろんな刺激を受けるわけなんです。これまでにこの

プッシュコーンの、ユーザサイトがたいへん多くなってきました。かれこれ100を超える数のサイトができてきています。どんどんできてきています。で、この内容を見ると、学校とか地域コミュニティの中で、一つの役割を持って地域情報を出していくというふうなものもあります。それから学校の中で、総合学習の中にポートフォリオ学習を活かしていくというふうな取り組みも出てきています。それから地域の活動をレポートするという形で地域情報を発信していくという取り組みも始まったりしています。それから自分たちのクラブ活動を紹介したりとかですね、今、自分が一番興味のあることを伝える。そういうふうな趣味的なものから、非常に幅広いんですね。食文化、温泉とかお祭り、それからですね...、その他いろいろありますね。こういうのは挙げると切りがないという感じですね。

それで全く興味も違えば、会ったこともないような人たちが、いろんな情報を出しているんですね。それがまた足したようで、上手い、下手ということを超えた一つの魅力として感じられる。それもホントに刺激を受けるんですね。ですから、それもこういうものの面白さなんだろうと思うんですね。ですから自分が中心でいつつも、他の人たちも全く違う形で魅力あるものを作り出している。それが実は全く同じ道具でやっているわけなんですけれども、中身が全然違うわけですね。これがポートフォリオというものが横につながった時の面白さではないかと思うんですね。

そういう点では皆さんも何かお感じになるところがあります。



仲間どうして学びあえる面白さ

仲間どうして学びあえる面白さ

高橋 まず第一にその技術的なことね。それは年中、何て言いますか、講習会とか何とかってということが常に開いているっていうことは無理なことですので、お仲間を増やす。ポートフォリオと一緒にやっているお仲間、友達。それがお互いに牽引しあって教えあって、私は年寄りだからなかなか覚えが悪いわけですけども、この相馬さんというのは、すぐ教を請うわけですね。そういうお仲間が、お友達

というか、お仲間がどうして教えあうと、その技術的なわからないことはね。これはホントに有意義なことだと思いますよ。何て言いますかね。遠慮なく聞けますでしょう？ お友達は。でないと、ちゃんとした講習会に行って成るってことでなくて、そのお友達、お仲間どうして教えあう。これが一番の勉強になると思います。実際、私そうしている。皆から聞いてやっています。



山形県山形市
高橋敬二さん



80倍と言わず、100倍、200倍！

80倍と言わず、100倍、200倍

ポートフォリオ学習の最後なんですけれども、あまり自分から、「これはつまらないんじゃないだろうか」とか決め付ける必要ありません。自分の可能性がどのように開かれていくんだろうかということもやってみないとわかりません。やってみることにとても大切な意味があります。その中でたぶん何かを発見していくんですね。それを是非大切にさせていただきたいって思っています。それがやがては5年続き、10年続き、あるいはもっと続くと、自分のかけがえのない生き甲斐創造になっていくかもしれないんですね。それも大切な学習の機会ではないかな、と考えています。

是非、無理することなく、「80倍楽しもう」といいましたけれども、80倍と言わず、100倍でも200倍でも楽しんでいただきたいと思います。

(ちょっとオフレコ)

相馬 なんで80倍なんですか？

何を、どういうふうになんて数字を当てはめようかなという公式を作ろうかと思ってたんですよ。それで80倍と仮に定義してみたんですけども、「増幅していく」ので80倍という数にもなっていく。

相馬 8だから末広がり。

そういうふうにご提案いただいて意味づけられていくんだと思います。

端山 80をね、縦にするんだ。

それはなかなかいい発想ですね。

相馬 ゼロと無限大で。哲学の世界だ。

無限大ですね。そうなんですよ。

実はこのポートフォリオっていうのは、いろんな課題を含んだ学習の提案にもなっています。それは問題は自分の中に作られるということなんですよ。自分だけが持っているというものなんです。(問題を)与えられて解き



(ちょっとオフレコ・・・)



方を解くために、学ぶために学ぶのではないわけなんです。それは自分の中にある「興味」、そこの接点で見出されるもので、多種多様なものである。これを拘束するものではないということなんです。実はその縛りがとてもきつかったということで、私たちはいろいろな制約を受けてきたわけです。ある意味損をしてきたわけです。その損とはどういうことかという、自分の中に、本当に興味のあること、やりたいこと。生き甲斐と言ってもいいかもしれません。そういうことを見出し損なってきた人も多いのではないかと思います。是非それに気づいて欲しいというのが、この問いかけなんです。



誰もがつかめる「面白さ」

で、この世の中つまらないって言っている人もいるんですけども、そんなことでは決してなくて、どこに行っても面白いものはあるんですよね。ただそれを面白い、興味のある対象としてみているだけなんです。

だからこういう道具で、デジカメで、ビデオで捉える。発見する。こういうのも一つの表現行為。発見の行為なんです。これも何気ないことですが、やってみるかみないかでだいぶ差がついてくる。そこに何かが見えてくる。それは自分が世の中を見る視点を作るということなんです。これもポートフォリオというものがあると、一つのきっかけになるということですね。これもまた世界を見

る一つのきっかけ作りとしてとても意味のあることなんではないかなと思うんです。

そして人に伝える。人に教える。この面白さですね。これで何倍も（面白さが）増幅します。これは掛け合わせで増幅します。そういう面白さがあります。そして皆と一緒に楽しくやりましょうというコラボレーション。こういう際限のない楽しみ方がその先にある、ということなんです。



一人でやっていけば孤独でしかないんですけども、仲間がいるととても楽しくなる。支えあいになる。そして自分が途中でやめちゃうと思ったところも、人に励まされる。人に刺激をされあう。こういうふうな関係性で思いもなかったような方向に展開していくことがあると思います。

というふうないろいろなことがあって…。人は意外に常識にとらわれているって面が非常に多いんですね。「こういうことやると恥ずかしい」と人は思うんじゃないかと思ったりするとできることができなくなりますよね。結構皆さん、自信がなかったりして、ちょっとためらったりする方も多いというのを見受けます。それはやはり自分でやる面白さの経験がまだないからかもしれないんです。

本当に楽しめる可能性というのは、誰にでもあるわけなので、そこを早く気づいて皆さんがもっと自分で楽しんでいけるような文化創造、学習の創造というものができるように支援していきたいなあと考えているんです。そんないろいろなことを考えると、生涯学習の面白さというところは掛け合わせになってくる部分がある。そうすると総じて80倍ということになっていくわけです。80倍のどれがどの数字というのはちょっと秘密にしておきたいと思います。これ、どこかで種明かししたいと思っています。

出所一覧

<テキスト>

『PushCornワークショップ eポートフォリオ入門』
前川道博著 東北芸術工科大学メディア環境研究室

<eポートフォリオ事例>

前川道博『マッピング露ヶ浦*』
前川道博『きらくにバードウォッチング』
井下義雄『散策』（歴史と建物）
山口文夫『仏教美術』
葛貫社四郎『再発見』（ひたちなかの自然）

出所一覧

<eポートフォリオ事例>

相馬克正・他3名『山形あ・ら・か・る・と』
伊藤政義『@SheepMan』
高橋敬二『山形の風景』
相馬克正『世界の人々・暮らし』
菊地敏夫『泳げる露ヶ浦』
高野哲夫『観察隊』（わくわく観察隊）
鈴木康夫『露ヶ浦の自然』
大江澄子『くらぶ活動』（そば食べ歩き会）
伊勢博『ネットdeコンサート』
J・コンラッド『東根市』
松本章吾『初めての海外』
松本章吾『小田原の景色』
田中玲『新庄祭り山車制作記録』

IT活用で生涯学習を
80倍面白くする方法
eポートフォリオ**入門**
ホームページ

<http://www.mmdb.net/eport/>

本講座でご紹介した事例のより詳しい
情報をインターネットで提供いたします。
どうぞご覧ください。